

コミスクだよりNo.5

霧多布地区でめざす子どもの姿
ふるさとを愛し、たくましく生きる子ども

令和7年3月6日(木)発行

この1年間コミュニティ・スクールに係わる多くの活動へのご理解とご協力ありがとうございました。

1. コミスクとは（コミュニティ・スクールの略）

子ども達や地域の輝く未来を創るために、学校、家庭・地域による一体的な取り組みを「社会総掛かり」で実現可能にする仕組みの一つがコミュニティ・スクールです。学校評価や地域協働活動などについても協議が行われ、子ども達が抱えている課題や実態を共有し、地域でどのような子ども達を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンについて熟議（熟慮と議論）し、地域の人々がその目標に向けて学校と協働し、地域人材や資源などを活用した学校運営を目指します。

文部科学省「学校運営協議会設置の手引」から抜粋

2. 今年度の成果と課題

＜成果＞

- ・計画通りに会議をもつことができた。ラジオ体操会の実施、花いっぱいロード、ひまわりプロジェクト、盆踊りの練習等、学校と連携した取組をすすめることができた。
- ・昨年度から取り組んでいる「スイッチ OFF」について小学校と中学校で時期を合わせて実施できた。
- ・コミスクの具体的な活動が保護者や教職員に認識されてきた。

＜課題＞

- ・コミスクだよりを町の広報誌と一緒に配付していただけることになったが、発行日が配付日とずれていたため、来年度は計画的に発行する。
- ・霧小の1～3年生の「ごみ拾い活動」を次年度以降コミュニティ・スクールの取組として地域の方と一緒にいきたい。
- ・花壇の花植えでは施肥や草抜きなどの手入れが必要である。
- ・次年度も霧多布地区の子ども達のために保小中の連携を強化していく。

3. 活動報告（12月～2月）概要版

霧小12月～2月活動アーカイブ

12月 公開研究会（13日）

13日は、霧多布小学校と霧多布中学校合同の研究会があり、浜中町内外の先生達 60 名ほどが来校し、5年生の算数の授業を公開しました。



1月 体験入学〈小学校・中学校〉

6日は、6年が霧多布中学校へ、20日は次年度入学予定の霧多布保育所の園児 3 名が霧多布小学校に来校し、授業体験を行いました。



↑ 小学校 1年生との交流授業 ↑ 中学校では「地理」の授業を体験

1月 食の指導・読み聞かせ

霧小では、地域の方を招いて「読み聞かせ活動」と「食の指導」を行っています。



2月 冬の避難訓練

冬の避難路の確認を兼ね、訓練を行いました。冬なので雪と氷などがあり、慎重に役場まで避難をする子供たち。いつもより2分程度遅くなりました。



2月 町おこしプロジェクト（28日）

5年生が「総合的な学習」の時間に学んだことを活かし、浜中町の町おこし（5案）について、斉藤町長さんや役場職員の皆さんに提案発表を行いました。



霧中12月～2月活動アーカイブ

12月 広域交流学习

別保小学校5年生と広域交流型オンラインでつなぎ、釧路湿原の太陽光パネルの設置の是非について設置した企業を交えた交流学习を行いました。



実践的防災教育

「余震やケガ人発生」を想定した避難訓練を実施しました。授業後、役場防災対策室から提供いただいた防災備蓄食を全校生徒に配付しました。



1月 浜中消防署から合格絵馬の贈呈

実際に使ってきた落ちないロープで作った合格絵馬を谷口署長さんからひとり一人に手渡されました。浜中消防署の皆さま、ありがとうございました。



与那原町子ども育成会との交流

沖縄県与那原町から中学生15名が来校し、霧中1、2年生と交流会を行いました。季節外れの“みぞれ”でしたが、心温まる交流会となりました。



4. コミュニティ・スクール活動報告（2月）

（1）スイッチOFF 2月16日（日）～2月20日（木）

コミュニティ・スクールで行う今年度最後の「スイッチ OFF の取組」を進めました。今回は「中学校の学年末テストに向けた家庭学習期間」の5日間を設定し、家庭でのメディアに接する時間を制限する活動を行いました。この取組は霧多布地区の小中学生がいる家庭と一緒にコミュニティ・スクールが行っている活動です。霧多布地区の皆さんでスイッチ OFF にご協力ありがとうございました。

～霧多布地区のみんなでスイッチ OFF～
メディア利用時間コントロール  スイッチ OFF 
春休み中もみんなで取り組もう！！

5. 令和7年度 コミュニティ・スクールの活動予定

第1回学校運営協議会 令和7年 5月15日（木）

第2回学校運営協議会 令和7年 6月24日（火）

第3回学校運営協議会 令和7年 9月25日（木）

第4回学校運営協議会 令和7年11月20日（木）

第5回学校運営協議会 令和7年 2月12日（木）

学校のホームページも
ご覧ください

霧多布小学校



霧多布中学校



6. 令和6年度 第2回学校評価の交流

霧多布小学校		
	成果	課題
生徒	・宿題の他にどの学年でも自主学習に取り組みを進め、意識をして取り組む児童も増えてきた。 ・授業には意欲的にと取り組む姿も見られ、自分で考え目標を達成する力が身についてきた。	・学習時間や取り組む内容に目をかけると、目標に達していない児童も多い。 ・全体的に「表現力」や「思考力」「判断力」に課題が見られる。子供たちに考えさせる授業改善を行っていく。
保護者	・小学校、中学校、地域が連携したコミュニティ・スクールの取り組みについての前回よりも高い評価となった。 ・早寝・早起き・朝ご飯など、時間や生活リズムに気を付けている家庭が増えている。	・メディアの使い方について、きまりを作っている家庭は、約70%。これからはきまりや時間を意識した接し方ができるように、スイッチ「OFFの取組」を中心に取り組みを継続し、情報発信に力を入れていく。

霧多布中学校		
	成果	課題
生徒	・約9割の生徒が悩みや相談事を相談できる先生がいる。 ・約9割の生徒が地震や津波などの災害に危機意識を持って生活している。 ・85%以上の生徒が自分から進んで授業に取り組んである。	・保護者、生徒とも共通して生活習慣、メディアの使用時間に関するポイントが低い。 ・家庭学習の習慣化についても1回目と同様に約半数の生徒が身につけていないと答えている。
保護者	・1回目の評価と比べて全体的に評価が上がっている。 ・特に生徒への相談体制や、地域と連携した取り組み、進路指導の充実に関するポイントが高い。	～課題の改善に向けて～ ※朝の健康調査などを利用して教師の声掛けや教育相談で生活習慣やメディアの利用時間の改善を図ります。 ※定期テストに向けた学習計画を立てる中で1日のスケジュールを改善する手立てを講じます。

・発行者 霧多布地区学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
事務局 霧多布小学校 TEL 0153-62-2812